

ご挨拶

小池敏彦

合掌

新年あけましておめでとうございます。2025年度も残り3ヶ月となりました。本年度は連盟行事は皆様のご協力を頂き、順調に消化できていると思います。県大会や交流合宿など若い指導者の意見を尊重し、参加者の大いなる称賛を受けることができました。

しかしながら、道院長及び支部長の高齢化や新設の道院、支部が増えることがない状態、拳士数の減少が我々の懸念となっています。思いつく施策を実行し、少しでも我々の目的である「人づくり」に邁進していきたいと思います。

2025年の振り返りでは、中学生の小玉琉花拳士が全国中学生大会にて3連覇の功績を打ち立ててくれました。彼女に続いてくれる拳士の登場を熱く期待しております。

2026年度の行事予定も決まり、執行部をはじめ各所属のご協力とご意見を頂きながら進めていきたい思います。スポーツ界におけるコンプライアンス強化には、①一般的な法令遵守、②組織が定める内部規範の遵守、③社会規範の遵守を実施していかなければなりません。

岡山県は、開祖宗道臣先生の生誕の地であり、少林寺拳法の理念が育った地でもあります。「人、人、人、全ては人の質にある」、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」の言葉を大切に思い、より良い社会を作っていくために、まだまだ多くの青少年を育てて行こうではありませんか。指導者が何もしないで諦めることがあってはならない。そのための「教え・技法・教育システム」なのです。

現在、指導者として協力いただいている拳士の皆さん、自分自身の昇格考試にチャレンジしてください。自己確立、自他共楽を考え、「何のために少林寺拳法をするのか?」を今一度考えて行動と共に頑張ろうではありませんか。よろしくお願い致します。

結手